

100年水道へむけて

～県営水道が立つ分岐点～

神奈川県営水道
2023(令和5)年8月



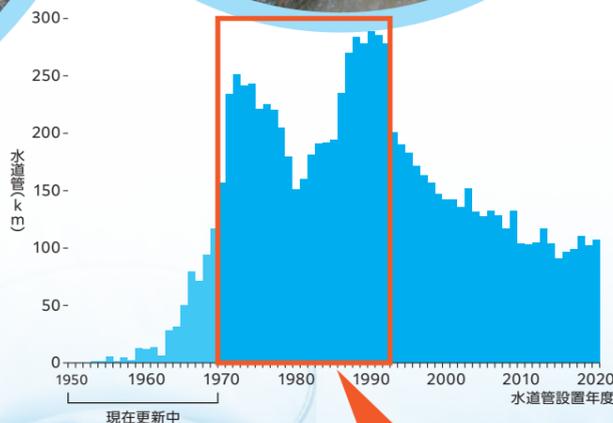
神奈川県営水道は業務開始から**90年**が経ち

多くの水道施設の老朽化が進んでいます。

今後40年で高度経済成長期以降の

人口増加に伴って整備した大量の施設が、

一斉に更新時期を迎えます。



安全安心な水道を未来に残すために

1

2

災害への備え

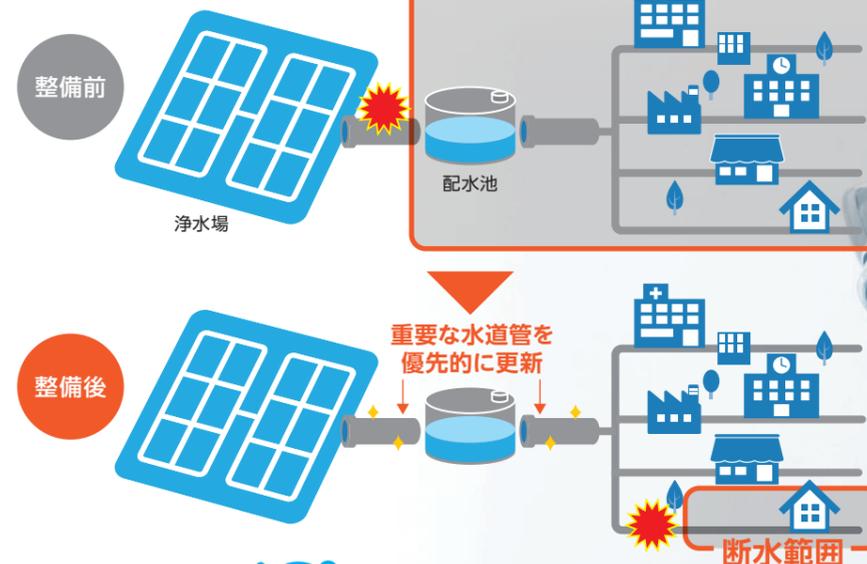
災害や事故に強い水道を目指し
戦略的に整備します。

今後30年以内に
震度6強以上の地震が
発生する確率

70%

断水戸数を少なく!
復旧日数を短く!

●戦略的な整備の例



整備の効果
(30年後想定)

断水戸数

1/10

復旧までの日数

12日減

(30日→18日)

検討状況をご覧になれます

戦略的な施設整備の考え方などについては、
学識経験者や水道使用者で構成する会議で
審議をいただいています。



詳しくは

[こちらからもご覧いただけます](#)

長期構想への意見を募集します

今後の事業戦略となる「**神奈川県営水道長期構想**」について
パブリックコメントを実施予定です。

詳しくは10月頃
こちらのページに掲載します。



<https://www.pref.kanagawa.jp/pub/list-2.html>

[こちらからもご覧いただけます](#)

県営水道へのお問合せ

●ポータルサイトはこちら

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r4a/keieika/main.html>



●水道に関する一般的なご質問は

神奈川県営水道お客さまコールセンター

☎電話(ナビダイヤル)

0570-005959

※横浜市・川崎市・横須賀市等は除く

▶ナビダイヤルを御利用できない方は
045-522-8820へ



4

県営水道の経営状況

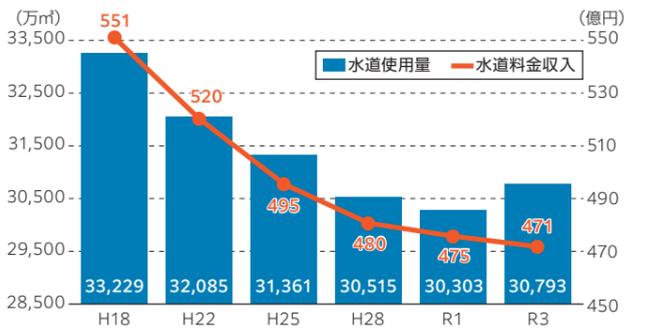
15年以上、料金を改定せず **安い水道料金** を維持してきました。
 しかし、**節水機器の普及等** で水道使用量が減少し、
料金収入が大幅に減少 しています。

他事業体との水道料金比較



※日本水道協会「水道料金表」より(口径20mm比較)

水道使用量と料金収入の減少

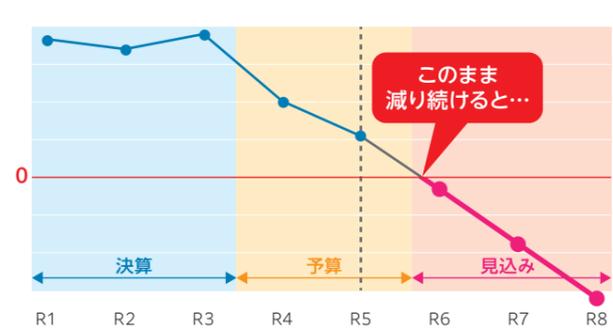


経営努力とその効果

経営努力の例 | **効果 (H18以降)**

- 職員の削減** | 削減数: **126人** (785人→659人)
- 民間への委託** (例: 料金徴収等業務委託) | 経費削減効果合計: **約29億7,000万円**
- 保有資産の売却** (例: 淵野辺職員アパート用地) | 売却額合計: **約21億6,000万円**

資金残高の推移 (令和5年3月時点)



料金体系の問題点 — 水道施設の維持更新に向けて

問題点 1 固定的な支出を、固定的な収入で賄えていません



問題点 2 お使いいただいている水道管に必要な費用に見合った基本料金になっていません

	一般家庭	工場等
水道管の大きさ		
維持・更新費用	材料費(1mあたり) 700円 / 水道メーター代 2,000円	材料費(1mあたり) 28,000円 / 水道メーター代 1,300,000円
基本料金	500円 + 100円 + 100円 + 10円 = 710円	

水道料金の見直し — 「水道管の大きさに応じた負担」へ

見直しのイメージ

水道管の大きさ	20mm	50mm	100mm	150mm	200mm
1か月分基本料金	低	中	高	非常に高	極めて高

将来にわたり安全な水をお届けするために、
ご理解をお願いします。

水道料金についても
 審議をしています。
 詳しくはこちら

